

# 北病棟移転の暴力的貫徹弾劾!

## ファシオ的弾圧(監禁・勾留)をはねのけ、 直ちに反戦・反ファシオ・反合理化=安保粉砕 政府打倒のストライキを構築せよ!

北病棟—この「病院牢獄」の完遂は、300名余の武装隊による病室地区制圧と、60名名の労作者・学生の不当逮捕・勾留、更には、病室内外をうごまき、学舎の労作者、学生(糾弾)中で、はた拘らざる「断乎として」なされた。全学、ともに闘いぬぎ、或いは分かれでも闘いんとする。全学の労作者、学生諸君! 確然と、物理的K(集結)は「病棟」として成立したを告げぬ。それ、我々は、この必死の闘いの中で、この世の延命—「病棟」の成立、K断乎として打ちしきる。それ、我々は、この必死の闘いの中で、この世の延命—「病棟」の成立、K断乎として打ちしきる。それ、我々は、この必死の闘いの中で、この世の延命—「病棟」の成立、K断乎として打ちしきる。

んとして。東大病院全体にうごまき、業々赤全学を弾圧。闘いは、たとえそれ、現存する斗争者—病棟幹部による「権力」出でたうと。一つの集結斗争として、病院内外に新たな斗争発展を打ち出すはおかない。小ヌル組を根拠とも、或いは自治会の小官儀の誘惑。いくら「全学統一派」病院の戦一味の行動、排他行動」をいじめたてようが、この小ヌル組(陣)越えんとする。労作者、学生の斗争エネルギー、また無限にある! 自らも小ヌルとして包圍し、ち、何かな「組織」=永有財産(しん)つくり、もよ。このエネルギー—巨大な破壊!

病院反戦—医学生・看護学生、自らの血肉を以ての戦力(武器)に身を懸けとする。東大医学部日300~1500の結集を以ての病棟打倒斗争の連続(展開)は、「全学統一派」とも言われ、この東大に再び、否、より深化・拡大した内容を以て—一つ、一歩前進としての登場(進出)で、斗争主体の公然化を宣言した。そればかりではない。連日の斗争、文京地区反戦の労作者、東大社会学部、東大医学部の学友が結集して、既に、毎週1回(土日)個別の文京地区の取揚、学園を以て「文京地区学生」は、病院の戦(打倒)にかけられ、大群(打倒)も拘らる。本日午後5時(お茶の水公園) 闘争集結集会として継承す

本日、北病棟、更に本学士(赤全)へのハルモニストレーションと排他(排他)行動(排他)は、何となくある斗争エネルギーを、反戦、反ファシオ、反合理化—安保粉砕、政府打倒のストライキへ発展せしめよ!

- 6.6 東大(赤全) 文京地区反戦集会 (主催: 東大赤全学、文京反戦)
- 6.7 東大(赤全) 東大赤全学 北病棟集会 (主催: 東大赤全学)
- 6.8 東大(赤全) 東大赤全学 暴行糾弾集会 (主催: 東大赤全学)
- 6.9 東大(赤全) 反安保集会 (主催: 北病棟、東大赤全学)
- 6.10 東大(赤全) 労働者人民党決起集会 (主催: 労働者人民党)